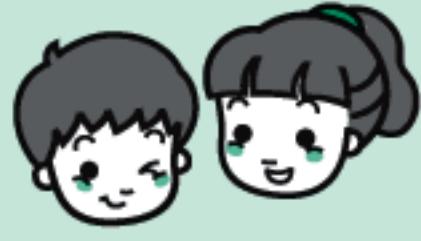


しみないソフトなさしごこち



こどもアイリス

第3類医薬品

◆こどもアイリスは、TVゲーム・プール・戸外での遊び等、お子さまの目の環境を考えてつくられた目薬です。

- ・TVゲームや勉強等で使いすぎた目のつかれをやわらげます。
- ・プールの消毒剤(カルキ)による目の刺激を緩和します。
- ・花粉やほこり等による目のかゆみや充血をしめます。
- ・目にやさしい、しみないソフトなさしごこちです。



使用上の注意

本剤は小児用ですが、一般点眼薬として定められた一般的な注意事項を記載しています。



相談すること



**① 次の人は使用前に医師、薬剤師
又は登録販売者に相談してください**

- (1) 医師の治療を受けている人。
- (2) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (3) 次の症状のある人。
 はげしい目の痛み
- (4) 次の診断を受けた人。
 緑内障

**② 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性がある
ので、直ちに使用を中止し、この説明書を持って
医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください**

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
目	充血、かゆみ、はれ

**③ 次の場合は使用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師
又は登録販売者に相談してください**

- (1) 目のかすみが改善されない場合。
- (2) 2週間位使用しても症状がよくならない場合。

効能

目のつかれ、眼病予防(水泳のあと、ほこりや汗が目に入ったときなど)、目のかゆみ、結膜充血、紫外線その他の光線による眼炎(雪目など)、目のかすみ(目やにの多いときなど)、眼瞼炎(まぶたのただれ)、ハードコンタクトレンズを装着しているときの不快感

こんな時に



ゲームやTVのあとの
目のつかれに



水泳のあとに



目にゴミが入った時に



勉強や読書のあとの
目のつかれに



雪目等に



花粉等による
目のかゆみ・充血に

用法・用量

15才未満 1日3~6回、1回2~3滴を点眼してください。

[注意]

- (1)定められた用法・用量を厳守してください。
- (2)小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させてください。
- (3)容器の先をまぶた、まつ毛にふれさせないでください。また、混濁したものは使用しないでください。
- (4)ソフトコンタクトレンズを装着したまま使用しないでください。
- (5)点眼用にのみ使用してください。

成 分

成 分	分 量	はたらき
タウリン	1.0%	プールの消毒剤(カルキ)による目の刺激を緩和して、眼病を予防します。
ネオスチグミンメチル硫酸塩	0.001%	つかれた目の調節機能を改善します。
L-アスパラギン酸カリウム	0.2%	新陳代謝を促進して、目のはたらきを正常に保ちます。
グリチルリチン酸二カリウム	0.1%	抗炎症作用、抗アレルギー作用により目の炎症をしめます。
クロルフェニラミンマレイン酸塩	0.02%	不快な目のかゆみや充血をおさえます。

添加物：塩化ベンザルコニウム、pH調節剤、ホウ酸、等張化剤

[注意]

本剤の点眼後、口中に甘みを感じることがありますが、これは有効成分のグリチルリチン酸二カリウムによるものですから、ご心配ありません。

保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない涼しい所に密栓して保管してください。
- (2)小児の手のとどかない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れかえないでください。(誤用の原因になったり品質が変わることがあります)
- (4)他の人と共用しないでください。
- (5)車のダッシュボード等高温下に放置しないでください。(容器の変形や薬液の品質が劣化することがあります)
- (6)使用期限を過ぎた製品は使用しないでください。なお、使用期限内であっても、開封後はなるべくはやく使用してください。
(品質保持のため)
- (7)保存の状態によっては、成分の結晶が容器の先やキャップの内側につくことがあります。その場合は、清潔なガーゼなどで軽くふきとって使用してください。



目薬をさす時の注意と正しいさし方

注 意

- 容器の先がまぶたやまつ毛にふれると、目やにや雑菌等のため、薬液が汚染又は混濁することがありますので注意してください。

正しいさし方

- 手をよく洗い、目に直接指がふれないようにしてください。
- やや上を向いて指で下まぶたをさげ、まぶたの裏側にしづくを落としてください。



発 売 元



大正製薬株式会社

東京都豊島区高田3丁目24番1号

<http://www.taisho.co.jp>

製造販売元



ティカ製薬株式会社

富山県富山市荒川1丁目3番27号

副作用被害救済制度のお問い合わせ先

(独)医薬品医療機器総合機構 <http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>

電話：0120-149-931(フリーダイヤル)